

様式第5-(イ)-⑬(指定業者の売上高の減少が全体の売上高に相当程度影響する場合)

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-⑬)

令和 年 月 日

八幡浜市長 大城 一郎 様

申請者
住所
氏名

印

私は、表に記載する業を営んでいるが、令和2年新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、(注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(1) 最近3か月間の企業全体の売上高等の平均に対する、上記の表に記載した指定業種(以下同じ。)に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{C-A}{(D+E) \div 3} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A: 申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円

B: Aの期間前2か月の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円

C: 最近3か月間の指定業種に属する事業の売上高等の平均 _____ 円

$$\frac{A+B}{3}$$

D: Aの期間に対応する企業全体の売上高等 _____ 円

E: Bの期間に対応する企業全体の売上高等 _____ 円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{F-D}{F} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

F: 最近3か月間の企業全体の売上高等の平均 _____ 円

$$\frac{D+E}{3}$$

(注1) 本様式は、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) 「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を記入する。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び香川県信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

第 号
令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注)本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

八幡浜市長 大城 一郎

○売上高の状況

(単位：円)

| | |
|--|--|
| A：申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等 (月分) | |
| B：Aの期間前2か月間の指定業種に属する事業の売上高等 (月、 月) | |
| C：最近3か月間の指定業種に属する事業の売上高等の平均 $\frac{A+B}{3}$ | |
| D：Aの期間に対応する企業全体の売上等 (月分) | |
| E：Bの期間に対応する企業全体の売上等 (月分) | |
| F：最近3か月間の企業全体の売上高等の平均 $\frac{D+E}{3}$ | |

(単位：%)

| | |
|--|--|
| (1)：指定業種に属する事業の最近1か月間の売上高等(割合) $\frac{C-A}{(D+E)/3} \times 100$ | |
| (2)：企業全体の売上高等(減少率) $\frac{F-D}{F} \times 100$ | |

(注) 認定申請にあたっては、営んでいる事業が全て指定業種に属することが疎明できる書類等(例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など)や、上記の売上高が分かる書類等(例えば、試算表や売上台帳など)の提出が必要。

上記内容について相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

(金融機関名)

印